



2022

12 / 13 (Tue)

開演 19:00 開場 18:30

仙台市宮城野区文化センター
パトナホール

チケット：¥ 3,000

お申込み：宮城野区文化センター (022-257-1213)
カワイ仙台ショップ (022-261-2851)
コンサート事務局
(QRコードまたはEmailから当日券を予約)

お問い合わせ：pianoduo1223@gmail.com



ボストン交響楽団ヴィオラ奏者

マイケル・ザレツキー ヴィオラリサイタル

～BACH and BRAHMS played by～

viola：マイケル・ザレツキー piano：柴田千賀子

Program

J.S. バッハ ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ
ブラームス ヴィオラソナタ第1番へ短調 Op.120-1 ほか

< 第1部 >

特別レッスン受講生 (piano) 寺木一希 : シューベルト アルペジオーネ・ソナタ D821 より
櫻田薫 : シューマン 「おとぎの絵本」 Op.113 より第1曲
ブラームス ヴィオラソナタ第2番 Op.120-2 より
石川奈緒美 : シューマン アダージョとアレグロ Op.70

※曲目・曲順は変更になることがありますのでご了承ください

主催：エステルハージー協会

後援：公益財団法人宮城県文化振興財団 公益財団法人仙台市民文化事業団 河北新報社 tbc 東北放送



Profile



マイケル・ザレツキー (ヴィオラ)

ボストン交響楽団ヴィオラ奏者。旧ソヴィエト連邦出身。モスクワ・フィルハーモニー四重奏団の一員及び、モスクワ放送交響楽団メンバーとして演奏活動を開始。1972年イスラエルへ移住しエルサレム放送交響楽団の首席ヴィオラ奏者として迎えられ、ラジオイスラエルでのソロ奏者としても活躍した。翌年、レナード・バーンスタインとの出会いにより米国タンゲルウッドへ招かれ、そこでボストン交響楽団のオーディションに合格。ボストン交響楽団のメンバーとしてはもちろん、リサイタルや室内楽でも活躍を続け、多くの著名音楽家とも共演を続けてきた。ソリストとしても、ボストンポップス、ロードアイランドフィルハーモニー等のオーケストラと共演している。また、ボストン大学で教鞭をとるなど世界各国で音楽活動や教育活動を行っている。これまでバッハ、ブラームス、シューマンさらにはヒンデミットの曲など多数のレコーディングを行っており、高い評価を受けている。また現代曲にも積極的に取り組んでおり、「スターウォーズ」をはじめとする映画音楽の作曲家として、さらにはボストンポップス管弦楽団桂冠指揮者としても著名なジョン・ウィリアムスは、ヴィオラとヴァイオリンのためのコンチェルト(ヴァイオリンはボストン交響楽団V・ロマヌル)をザレツキー氏に献呈している。後の2007年にはタンゲルウッド音楽祭で演奏されレコーディングも行われた。さらに、J・ウィリアムスは彼のためにヴィオラ協奏曲を書いており、これも2010年に初演されている。非常に親日家でありボストン交響楽団の日本ツアーの際などには日本各地を訪れ演奏会を行っている。ピアニストの柴田千賀子とは1997年のツアー以来20年以上の間共演を重ねている。2017年には柴田千賀子と共に石巻を訪問、津波で壊滅的な被害を受けた沿岸地区での追悼コンサートを行い、その様子はラジオ・ボストンでドキュメンタリーとして放送され国内で大きな反響があった。2022年には仙台のほか、札幌、東京、横浜でコンサートを行う予定である。



柴田 千賀子 (ピアノ)

14歳でリスト奨学金を受け英国王立音楽院に学ぶ。金メダル(首席)を授与され卒業後、B.カプラン、A.エステルハージー、マリア・クルトショに師事。英国ギルドホール芸術大学教授アシスタント、米国インディアナ大学講師を経て2000年より北海道教育大学札幌校、岩見沢校非常勤講師を歴任。ダトリーナショナルコンクール(英国)で優勝、その後ニューポート(英国)、ハエン、サラゴサ(スペイン)、フィナーレリグレ、エンナ、ペリーニ(イタリア)等数多くの国際コンクールで上位入賞、またエリザベス王妃国際コンクール(ベルギー)ではセミファイナリストに入賞。その間米国やアジアの大学にて公開レッスンと講義を行うほか、ヨーロッパを中心に演奏活動、TV・ラジオの出演も多く各国の新聞、専門誌で高評価を得る。ソロのほか、海外からのソリストや弦楽四重奏団との共演、BBCウェールズ交響楽団、シティー・オブ・バーミンガム・オーケストラ等海外のオーケストラと共演、邦人作品の海外公演及び海外の作品の日本初演も積極的に行っている。帰国後サントリーホール、津田ホール、札幌コンサートホール等でソロリサイタルを行う。エステルハージー協会を設立、エステルハージー奏法(リヒテル、ホロヴィッツ、ルブといった素晴らしい演奏家を育て、20世紀最も偉大なピアノ教育者とされるH.ネイガウスの弟子であるエステルハージー氏と共同研究をしてまとめあげたロシア奏法で、脱力、呼吸法を取り入れたピアノ演奏技術)の指導と講義を国内外各地で行っている。2013年と2017年にリリースされたCD「I got Rhythm」と「Le Lorient」は国内外で高い評価を受け海外から共演の指名を受けている。演奏の傍ら、PMF国際教育音楽祭での司会や通訳を、又STVラジオ番組「オハヨー!クラシック」(2011～2016)ではパーソナリティーを務めるほか、2011年以降震災復興支援に7年近く携わった縁で現在東北と海外や国内各地域とを結び、クラシック音楽の普及と活性化、若い音楽家の育成と交流をはかる取り組みをプロデュースする等多岐にわたって活躍している。

【特別レッスン受講生】



寺木 一希 (ピアノ)

山形大学地域教育文化学部文化創造学科音楽芸術コース卒業。ソロの他、伴奏や室内楽など多数の演奏会に出演。石川奈緒美とのピアノデュオ「Naotera Piano Duo」としても活動中。上田はま子、小林広美、江川龍二、植木由利子、中村薫、柴田千賀子の各氏に師事。

櫻田 薫 (ピアノ)

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ポーランド・ショパンアカデミー研究科終了。ソロリサイタル、アンサンブル、伴奏者として様々なコンサートに出演。荒憲一、外山卓、赤城眞理、B.ムンシンスカ、柴田千賀子の各氏に師事。東北福祉大学非常勤講師、宮城県芸術協会会員。



石川奈緒美 (ピアノ)

愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を経て、同大学大学院修了。中村桃子賞受賞。数多くの国内コンクールにて上位入賞。ソロリサイタルや伴奏の他、近年はピアノデュオにも力を入れ、多数の演奏会に出演している。石川治子、故大塚敏子、松本総一郎、柴田千賀子の各氏に師事。

他公演のご案内

～BACH and BRAHMS played by～

マイケル・ザレツキー & 柴田千賀子
(ボストン響ヴィオラ奏者) (ピアノ)

< 東京 >

東京練馬区・音楽サロン・アシュレイ
12月 3日(土) 14:00～

要予約

S席 5,500円

A席 4,500円

25歳以下 3,000円

(10/31までにご予約の方は先行割引あり)

TEL/FAX: 03-5387-6503

< 札幌 >

札幌・カムオンホール

11月30日(水) 19:00～

チケット 4,000円

*未就学児の入場はご遠慮ください

ご予約・お問い合わせ

090-1309-8646

newplazma_cimaart@yahoo.co.jp

(エステルハージー協会)

come_on_2av1st@yahoo.co.jp

(カムオンホール)

Access

仙台市宮城野区文化センター

パトナホール

(JR 仙石線陸前原ノ町駅下車すぐ)

〒983-0842

仙台市宮城野区五輪2丁目12-70



※自家用車でご来場の方は、近隣のコインパーキングをご利用ください